
2022年度 第2四半期 業績

決算説明資料

先生と患者さんに喜ばれたい



2022年8月9日

2022年度 第2四半期 業績

■業績概要	4
■事業別売上高・総利益	5
■通信販売事業の売上高・総利益	6
■その他の事業の売上高・総利益	7
■販売費及び一般管理費	8
■貸借対照表	9
■キャッシュ・フローの状況	10
■設備投資・減価償却費	11

2022年度 通期業績予想

■通期業績予想	13
■年間配当（予想）	14
■補足資料	15

注記事項

本資料に掲載されている目標数値ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2022年度 第2四半期 業績概要

2022年度 第2四半期 業績概要



(単位：億円)

	2021年度	売上 構成比	2022年度	売上 構成比	増減	
					金額	前年比
売上高	204.1	100.0%	209.6	100.0%	5.5※	102.7%
総利益	59.8	29.3%	60.3	28.8%	0.6※	100.9%
営業利益	25.5	12.5%	23.3	11.1%	-2.2※	91.3%
経常利益	26.0	12.8%	23.3	11.1%	-2.7※	89.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15.5	7.6%	15.3	7.3%	-0.2	98.6%
1株当たり 四半期純利益	155.02円	—	152.85円			

うち、2022年度より

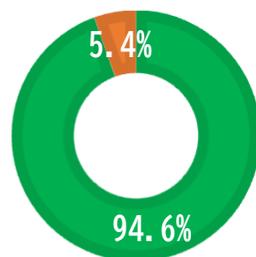
※「収益認識に関する会計基準」を適用した影響：売上高 ▲1.2億円、総利益▲0.7億円、営業利益、経常利益▲0.1億円

(単位：億円)

		2021年度	2022年度	増減	
				金額	前年比
通信販売事業	売上高	194.9	198.2	3.3	101.7%
	総利益	54.8	54.7	-0.1	99.8%
	通販事業の 総利益率	28.1%	27.6%	—	—
その他の事業	売上高	9.2	11.4	2.2	124.0%
	総利益	5.0	5.7	0.7	113.8%
	その他事業 総利益率	54.1%	49.7%	—	—

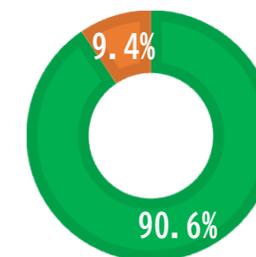
売上高

■通信販売事業 ■その他事業

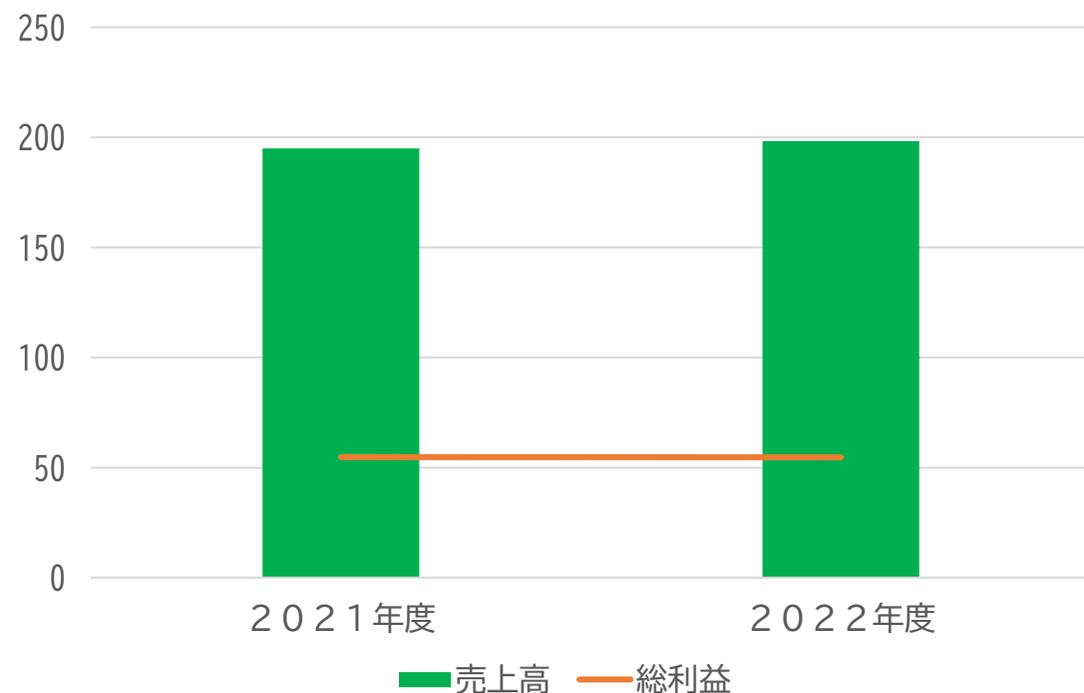


総利益

■通信販売事業 ■その他事業



通信販売事業



■売上高 198.2億円 (前年同期比 101.7%)

- ・前年に引き続き、主力の歯科医院向け通信販売を中心に、感染対策商品の需要が高水準で推移。
- ・前連結会計年度以前に新規口座開設を開設していただいたお客様より、引き続きご注文をいただいていることも要因。
- ・昨年、ロジスティクスセンターの人員強化及びシステム・マテハンの一部改修を実施したことにより、高水準で推移する需要にも対応。
- ・将来的には現在計画中の新物流センターの建設により、更なる出荷能力の増強を予定。
- ・歯科用ユニットが商品ラインナップに加わって以降、WEBセミナー、独自イベント、ユーザーレビューなどの活用で確実に大型医療機器含めたトータルソリューションの認知度が浸透、その結果他社から入替案件が加速した。また新型コロナウイルス新規感染者数の落ち着きにより今まで慎重だった新規開業の意欲が強まりつつあること等で大型医療機器を含む「開業セット」販売が好調。4月にC.I.デンタルショー開催したことも大型医療機器の販売に大きく寄与。
- ・調剤薬局向けは、ジェネリック医薬品メーカーの相次ぐ自主回収の発生の影響により、商品の欠品が相次ぎ低調に推移。
- ・2021年度は厚生労働省による「新型コロナウイルス感染症拡大防止等の支援事業（2020年4月1日から2021年3月31日までの感染予防対策費用が対象）」の駆け込み需要があり。

■総利益 54.7億円 (前年同期比 99.8%)

- ・感染対策商品の市場販売価格が落ち着いたことその他、円安や原材料費上昇の影響により総利益率は全体として横ばい。
- ・総利益率の高い大型医療機器販売は大きく伸長。

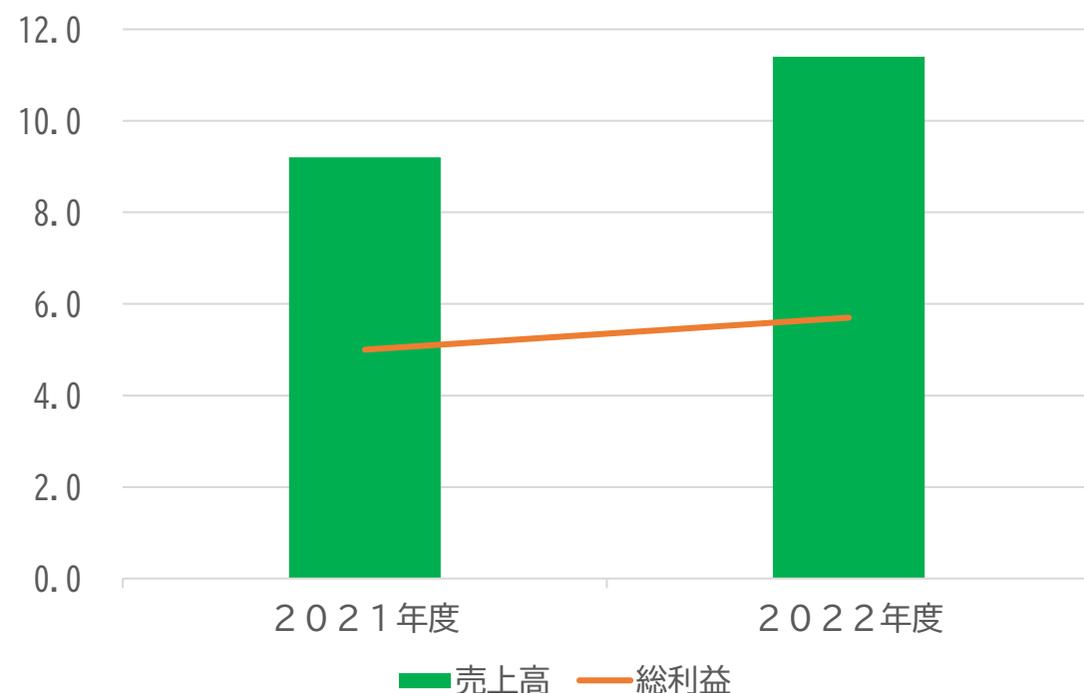
(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減	
			金額	前年比
歯科関連 ※1	168.5	171.5	3.0	101.8%
歯科関連以外 ※2	26.5	26.7	0.2	101.0%

※1 レントゲン、CT等の大型機器販売を含む

※2 主な販売先は、介護・福祉施設、病院・一般診療所、動物病院、調剤薬局、幼稚園・保育所、理美容など

その他の事業



■売上高 11.4億円 (前年同期比 124.0%)

- ・CAD/CAM技工用機器・システム販売は、2020年9月のCAD/CAM冠に続き、2022年4月のCAD/CAMインレーの保険適用拡大と金パラ高騰の影響で脱金属がより加速。CAD/CAM技工物やジルコニアクラウンの需要が高まり、CAD/CAMシステム及び口腔内スキャナ販売が好調。
- ・技工物製造は、昨年新型コロナウイルス感染拡大の影響により低迷した高齢者向け義歯需要が回復した。脱金属の影響でCAD/CAM冠、ジルコニアの受注も堅調に推移。ワイヤーを使わない透明マウスピース型矯正「シースルーアライナー」の受注も増加。

■総利益 5.7億円 (前年同期比 113.8%)

- ・上記のCAD/CAM技工用機器・システム販売に関して口腔内スキャナ販売が堅調に推移したが総利益率は昨年比で減少。
- ・電力小売取次事業は、新電力各社の撤退による当社への流入により順調に契約数が増加し売電額は増加。しかし電力仕入価格上昇の影響により総利益は横ばい。

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減	
			金額	前年比
CAD/CAM関連事業 ※1 (技工用機器・システム販売、技工物製造)	6.9	9.2	2.3	133.1%
電力小売取次 ※2	1.4	1.4	-0.0	99.9%

※1 CAD/CAM：コンピューターを使って、製品の設計・製造をするためのシステム、computer-aided design/computer-aided manufacturingの略。製品を設計し製図を行うCADと、製品を製造・成形・加工するCAMと組み合わせたもの。歯科用CAD/CAMシステムとは、口腔内に装着される修復物や補綴物の設計及び加工に用いられる複数の装置をCADやCAM技術を用いて統合したシステムのこと。
 ※2 電力小売取次：当社経由の売電額は25.4億円。当社は取次手数料を売上高(=総利益)に計上。

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減	
			金額	前年比
給与手当 ※1	6.0	6.8	0.8	112.7%
倉庫人件費 ※2	2.9	3.7	0.8	128.7%
広告宣伝費 ※3	2.6	2.9	0.4	114.7%
荷造運賃発送費	10.1	10.7	0.6	106.0%
減価償却費 ※4	1.5	1.7	0.2	115.4%
従業員数	269	271		
臨時雇用者数	453	555		

- ※1 給料手当 : 従業員の採用を推進したことにより、昨年より人件費が増加。
- ※2 倉庫人件費 : 倉庫人件費に関しても同様。ロジスティクスセンターの能力引き上げのため採用に注力。
- ※3 広告宣伝費 : 歯科総合カタログ（6月下旬発送）製作により増加。
- ※4 減価償却費 : 前事業年度に 基幹システム、販売サイト、マテハンに設備投資をしたことによる減価償却の増加。

貸借対照表

(単位：億円)

		2021年 12月末	2022年 6月末	増減	
				金額	前年比
	流動資産	144.5	139.3	-5.2	96.4%
	固定資産	54.7	96.4	41.7	176.3%
	資産	199.2	235.7	36.5	118.3%
	流動負債	35.2	59.3	24.1	168.5%
	固定負債	4.2	4.2	0.0	101.2%
	純資産	159.8	172.1	12.3	107.7%
	負債・純資産	199.2	235.7	36.5	118.3%
	自己資本	159.8	172.1	12.3	107.7%
	自己資本比率	80.2%	73.0%	—	—
	現預金	36.5	21.6	-14.9	59.1%
	売掛債権・未収入金	38.1	40.3	2.3	105.8%
	棚卸資産	61.7	68.9	7.2	111.7%
	仕入債務	14.8	15.5	0.7	104.8%
	有利子負債	—	20.0	20.0	—

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減
営業キャッシュ・フロー (①)	3.6	8.6	5.0
投資キャッシュ・フロー (②)	-3.4	-40.7	-37.4
財務キャッシュ・フロー (③)	-5.8	17.2	23.0
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	-5.6	-15.0	-9.4
現金及び預金などの期末残高	56.8	36.5	-20.3
フリーキャッシュ・フロー (①+②)	0.3	-32.1	-32.4

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減
設備投資※	1.6	40.2	38.6
減価償却費	1.5	1.7	0.2

※2022年度 主な設備投資：新物流センター関連（石川県能美市にて建設中）

38.7億円

2022年度 通期業績予想

(単位：億円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (予想)	増減	
			金額	前年比
売上高	412.1	425.5	13.4	103.3%
営業利益	45.2	44.6	-0.6	98.5%
経常利益	46.1	44.7	-1.4	97.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	28.2	28.4	0.2	100.6%
経常利益率	11.2%	10.5%		
一株当たり当期純利益	282.09円	283.81円		

※現時点では、2022年2月10日に発表した業績予想からの修正はございません。
通期の業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

1株当たり連結純利益および配当金

	2020年度 （実績）	⇒	2021年度 （実績）	⇒	2022年度 （予想）
1株当たり連結純利益	292.09	⇒	282.09	⇒	283.81
中間配当金	0.00	⇒	0.00	⇒	0.00
期末配当金	58.42	⇒	28.21	⇒	未定
年間配当金	58.42	⇒	28.21	⇒	未定

※2020年度（実績）には、創立20周年記念配当金（1株当たり29円21銭）を含んでおります。

配当性向目標：連結純利益の10%

現時点では、配当予想額は未定です。

新物流センター建設について

1. 背景と目的

近年の売上増加及びコロナ禍における感染対策商品・衛生用品の注文増による出荷遅延の発生により、商品保管能力及び出荷能力の強化を検討していたなか、2019年11月に経済産業省「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の採択を受け、2023年中旬の稼働に向け計画を推進しております。

新物流センターの当社の新物流センター建設計画は、「補助金対象事業B（国民が健康的な生活を営む上で重要なものの生産拠点等の整備）」（補助率 約3/4）に該当します。

新物流センターの稼働により、既存の施設と比較し出荷能力が約3倍以上になる予定です。

2. 現在の建設工事の進捗状況

現在の建設工事の進捗状況に関しましては、下記のとおり計画通りに進んでおります。

建物	: 69%
倉庫管理システム	: 40%
倉庫内設備	: 10%

3. 現時点での計画概要

建設予定地	: 石川県能美市福島産業団地 土地区画整理事業施工地区内 5街区2
投資内容	: 用地 約65,329㎡
竣工時期	: 2023年 1月（予定）
稼働時期	: 2023年 中旬（予定）
投資予定額	: 約229.7億円（予定） ※「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」の交付を受ける予定であり、残りの建設資金については自己資金及び銀行借入で賄う予定です。

先生と患者さんに喜ばれたい

Cjメディカル